

2024年1月号：コロナ禍前から「増収」は59.1%、規模で差が拡大

【2024年1月号の内容】

- 1) コロナ禍前から「増収」は59.1%、規模で差が拡大
 - 2) 上場ホテルの客室単価、9割以上でコロナ前を超える
 - 3) 倒産増加率が30年ぶりの高水準
 - 4) 2023年の「円安」関連倒産52件 前年の2.1倍に急増、12月は2件
 - 5) 災害時に横行する悪質商法に注意喚起
 - 6) 長期積立の甘くない現実紹介
-

当グループは地元大阪のサッカーチーム「FC大阪」様を応援しています。

【1】コロナ禍前から「増収」は59.1%、規模で差が拡大

.....

～ 「成長戦略に関するアンケート」調査 ～

経済活動がアフターコロナにシフトし、企業の戦略はコロナ禍の業績維持・回復から売上拡大へ変化している。

東京商エリサーチは12月にアンケート調査を実施した。

5年前の2018年と、コロナ禍を経た2023年の業績を比較すると、売上が伸びた「増収」企業は59.1%と、約6割あることがわかった。

■詳しくはこちら

http://www.tsr-net.co.jp/data/detail/1198246_1527.html

※外部サイトとなります。

【2】上場ホテルの客室単価、9割以上でコロナ前を超える

.....

～ 上場ビジネス・シティホテル「客室単価・稼働率」調査 ～

株式上場するホテル運営会社13社（15ブランド）の客室単価と稼働率が、都心を中心にコロナ禍前とほぼ同水準まで回復したことがわかった。

客室単価が 2019 年以降の 5 年間で、最高を更新したホテルもある。

■詳しくはこちら

http://www.tsr-net.co.jp/data/detail/1198270_1527.html

※外部サイトとなります。

【3】倒産増加率が 30 年ぶりの高水準

～ 企業、個人とも「自己防衛」の時代に ～

.....

2023 年はコロナ支援の反動や物価高、人手不足などで倒産が急増した。増加率は、リーマン・ショックや IT バブルを大幅に上回り、バブル崩壊後の 1993 年以降では最大だ。抑制傾向が続き、緩慢になっていた倒産への危機意識が必要な時代にと突入した。

■詳しくはこちら

http://www.tsr-net.co.jp/data/detail/1198257_1527.html

※外部サイトとなります。

【4】2023 年の「円安」関連倒産 52 件 前年の 2.1 倍に急増、12 月は 2 件

.....

～ 【12 月速報】 「円安」関連倒産（12 月 29 日現在） ～

2023 年の「円安」関連倒産は 52 件で、年初から途切れることなく発生し、前年比 2.1 倍に達した。特に、円安の影響がピークとなった 5 月は 9 件と最多を記録したが、12 月は 2 件と落ち着き、3 カ月ぶりに前年同月を下回った。12 月の負債総額は 5 億 9,100 万円だった。

■詳しくはこちら

http://www.tsr-net.co.jp/data/detail/1198265_1527.html

※外部サイトとなります。

【5】災害時に横行する悪質商法に注意喚起

.....

地震や大雨などの災害時は、それに便乗した悪質商法が多数発生するとして、国民生活センターが公式サイトなどで注意を呼び掛けています。

■詳しくはこちら

<https://news.nifty.com/article/item/neta/12357-2732891/>

※外部サイトとなります。

【6】長期積立の甘くない現実紹介

.....

2024 年から新 NISA が始まり、ますます裾野が広がる投資の世界。

そして投資の初心者が真っ先に検討するのが長期での積み立てによる資産運用です。

時間を味方にできる低リスクな運用方法と言われる一方で、実際に周りの人がどのように積立投資を行ってきているのかその実態を覗く機会は限られます。

■詳しくはこちら

<https://news.nifty.com/article/item/neta/12101-2732517/>

※外部サイトとなります。

※本メールは EST Group のサービスをご利用いただいた方にお送りしています。

※今後 EST Group からのご案内が不要の場合、ご連絡ください。

※記載された内容は予告することなく変更される場合があります。

EST Group 株式会社

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 2 丁目 1-14

(C) EST Group. All rights reserved.